

# 室蘭工業大学-学報

NO.671



第79回むろらん港まつり「総参加市民おどり」への参加者集合写真  
(9ページに関連記事あり)

2025年 9 月号

## 目 次

### ◇ トピックス ◇

|  |    |
|--|----|
| JAXA/ISAS TAG-SPチームと固体ロケットモーターによるタッチアンドゴー試験を実施             | 1  |
| 鹿毛あずさ助教が第18回資生堂女性研究者サイエンスグラントを受賞                           | 2  |
| 太田香コンピュータ科学センター長（しくみ解明系領域・教授）がAAIAから「Fellow」の称号を授与         | 3  |
| JST次世代研究者挑戦的研究プログラム令和6年度の成果報告&令和7年度のトップオブトップアカデミーの公募説明会を開催 | 4  |
| 第33回蘭岳セミナーを開催  | 6  |
| 北洋銀行ものづくりサステナフェア2025に本学のブースを出展                             | 7  |
| 「室蘭工業大学 デジタル・キャンパス推進スチューデントアンバサダー“M-COINS”」の認定式を実施         | 8  |
| 第79回むろらん港まつり「総参加市民おどり」に参加                                  | 9  |
| 室蘭市ロボット・IoT導入促進ネットワーク第1回連絡会議に参加                            | 10 |
| 令和7年度オープンキャンパスを開催  | 11 |
| Microsoft 365 Copilotミニセミナー（セキュリティ編）を開催                    | 12 |

### ◇ 情報・資料 ◇

|                                |    |
|--------------------------------|----|
| MONOづくりみらい共創機構「プレ共同研究」（4回目）の採択 | 13 |
|--------------------------------|----|

### ◇ 外部資金 ◇

|               |    |
|---------------|----|
| 民間等との共同研究の受入れ | 14 |
| 受託研究等の受入れ     | 15 |
| その他の補助金の受入れ   | 16 |
| 奨学寄附金の受入れ     | 17 |

### ◇ 人 事 ◇

|      |    |
|------|----|
| 人事異動 | 18 |
|------|----|

### ◇ 日 誌 ◇

|           |    |
|-----------|----|
| 学内行事・学外行事 | 19 |
|-----------|----|

### ◇ 人物図鑑 ◇

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 室蘭工業大学人物図鑑 part.31～32 | 20 |
|-----------------------|----|

## JAXA/ISAS TAG-SPチームと固体ロケットモーターによるタッチアンドゴー試験を実施

室蘭工業大学航空宇宙機システム研究センターは、宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究所（JAXA/ISAS）のTAG-SP（タッチ・アンド・ゴーサンプリングプローブ）チームと白老エンジン実験場において固体ロケットモーターによるタッチアンドゴー試験を実施しました。

本試験は高速軌道上を走行する台車を探査機と見立て、目標地点に対し台車の位置と速度を制御することでタッチアンドゴー（減速降下～着陸～再浮上）の実証をおこなうものです。高速軌道設備の走行台車を天体重力相当の加速度で走行させることで探査機の着陸降下環境を模擬し、その環境下において固体ロケットモーターによる推力偏向制御をおこなうことで探査機のタッチアンドゴーをおこないます。これらのタッチアンドゴーシーケンスには、センシングによる探査機の状態把握、着陸再浮上誘導制御、固体ロケットモーターの運用と推力偏向制御の技術が必要となります。

試験では、固体ロケットモーターによるタッチアンド

ゴー試験を1回実施しました。台車走行による探査機の着陸降下環境において、固体ロケットモーターを作動させ、設計した誘導制御則に従い推力偏向をおこない、目標地点に対し減速降下～着陸～再浮上までの一連のタッチアンドゴーシーケンスを達成しました。本試験により、探査機に固体ロケットモーターを適用するための技術成果を得ることができ、実際に運用するための技術課題が明らかになりました。

本研究は、小重力天体に対し固体ロケットモーターによる探査機サンプリングリターンを実現するための技術として実施しています。今後は、今回の試験を継続して取り組んでいくとともに、固体ロケットモーター推力偏向による探査機の姿勢制御にも取り組んでいきます。

本研究は、科研費基盤研究（B）「遠方天体表面マルチアクセス技術の実現－自在な宇宙探査のための探査工学」、JAXA/ISAS戦略的開発研究費（工学）の助成を受け、実施されたものです。



走行試験の様子



試験参加者の集合写真

## 鹿毛あずさ助教が第18回資生堂女性研究者サイエンスグラントを受賞

室蘭工業大学大学院工学研究科 鹿毛あずさ助教が第18回資生堂女性研究者サイエンスグラントを受賞しました。鹿毛助教の研究テーマは「微生物の重力応答の生態的意義の検証」です。応募者108名中、受賞したのは鹿毛助教を含む10名でした。令和7年6月20日(金)に資生堂グローバルイノベーションセンター（横浜市）にて贈呈式が行われ、鹿毛助教が出席しました。

資生堂女性研究者サイエンスグラントは、「次世代の指導的役割を担う女性研究者を支援することは科学技術

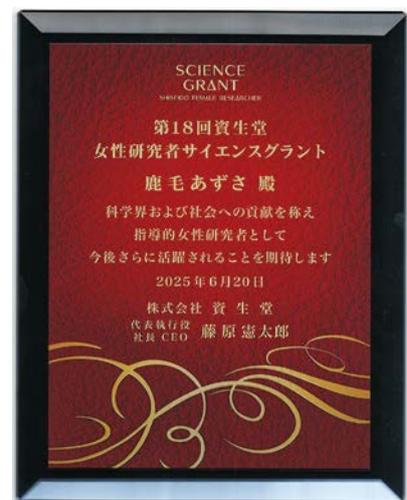
の発展につながる」という考えのもとに設立された研究助成です。

### 【受賞コメント】

このたびは採択いただき、大変光栄です。指導的役割を担っていきけるよう、また室蘭・胆振・北海道と世界をつなげるような教育・研究ができるよう、ますます精進したいと思います。



記念撮影の様子（右：鹿毛助教）



授与された受賞盾

## 太田香コンピュータ科学センター長(しくみ解明系領域・教授)が AAIA から「Fellow」の称号を授与

令和7年7月、太田香コンピュータ科学センター長が Asia-Pacific Artificial Intelligence Association (AAIA) から「Fellow」の称号を授与されました。

### Asia-Pacific Artificial Intelligence Association (AAIA):

アジア太平洋人工知能協会 (AAIA) は2021年に香港で設立された学術的、非営利、非政府組織です。学術研究、学術交流、科学教育、科学展示会、学術会議、学術出版、サマー／ウィンターキャンプ、その他の活動を通じて、世界中のAIおよびその他の分野の科学者を強化し、AIの開発と応用を促進することを目的としています。加えて、AI海洋、AI輸送、AIコンピューティング、AI通信、AIロボット、AI教育、AI農業、AI金融、AI医療、AIエネルギー、および数十のAI応用分野を含む幅広いAI産業の構築を目指しています。

AAIAの「Fellow」には、AI分野のトップレベルの科学者や企業家が選ばれています。

### 所属大学:

東京大学、スタンフォード大学、プリンストン大学、マサチューセッツ工科大学、カリフォルニア工科大学、コーネル大学、コロンビア大学、オックスフォード大学、インペリアル・カレッジ・ロンドン、トロント大学、ウォータールー大学、メルボルン大学、シドニー大学、南洋理工大学、シンガポール国立大学、北京大学、清華大学、上海交通大学

### 所属学会:

日本工学アカデミー、米国科学アカデミー、米国工学アカデミー、欧州アカデミー、中国科学アカデミー、中国工学アカデミー、カナダ工学アカデミー、英国工学アカデミー、シンガポール工学アカデミー

### Fellow:

IEEE(Institute of Electrical and Electronics Engineers)、ACM (Association for Computing Machinery)、AAAI (Association for the Advancement of Artificial Intelligence)、IAPR (International Association for Pattern Recognition)

### AI関連企業:

Google、Microsoft、IBM、Alibaba (アリババ)、HUAWEI (ファーウェイ)、JD.com等

関連URL: [Asia-Pacific Artificial Intelligence Association \(aaia-ai.org\)](http://aaia-ai.org)

### 【受賞コメント】

このたびAAIAよりFellowとして認定いただきましたことを、大変光栄に思います。本称号は、これまでの研究活動に対する評価としていただいたものと受け止め、引き続き、研究ならびに教育に尽力してまいります。共に研究を進めてきた共同研究者の皆様、そして日々の活動を支えてくださる関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



「Fellow」の称号

# JST次世代研究者挑戦的研究プログラム令和6年度の 成果報告&令和7年度のトップオブトップアカデミーの 公募説明会を開催

令和7年7月16日(水)教育・研究棟3号館N棟310講義室にて「JST次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING) 令和6年度成果報告会」および「令和7年度トップオブトップアカデミー公募説明会」を開催しました。

本プログラムは、博士後期課程の学生による挑戦的かつ融合的な研究を支援し、優秀な博士人材が多様なキャリアで活躍できるよう、研究力の向上と研究者能力の開発を促進するJSTの公募事業です。

成果報告会では、桃野理事による開会挨拶から始まり、参加学生が国内外の学会や国際会議で得た知見をもとに、自身の研究活動や成長について意欲的に発表しました。ポーランドで開催された「Digital Universities Europe 2025」や、電子情報通信学会総合大会での英語ポスターセッション、マニトバ大学への留学など、多様な経験を

通じて、異分野交流・国際的な発信力・AIと教育の融合など、博士人材に求められるスキルについての考察が共有されました。

また、董晃雄副学長(事業統括)より、令和7年度トップオブトップアカデミーの公募説明が行われ、今年度はTHE World Academic Summit 2025への参加について紹介されました。董副学長は、イノベーションの創出や将来のキャリア形成に向けて、積極的な参加と異文化交流の重要性を学生に向けて力強く呼びかけました。最後に花島副学長が閉会挨拶でぜひトップオブトップアカデミーへの参加を学生へ促し、本報告会は盛況のうちに終了しました。本報告会を通じて、博士課程学生の挑戦的な取り組みと、国際的な視野を持った研究活動の成果が広く共有され、今後のさらなる活躍が期待されます。



桃野理事による開会挨拶



谷口美緒さんによる発表

トピックス



幾島晴輝さんによる発表



WEN LIHONGさんによる発表



YUAN XINGYUさんによる発表



HUI CHENさんによる発表



董副学長による公募の説明



花島副学長による閉会挨拶

## 第33回蘭岳セミナーを開催

令和7年7月18日(金)に教育・研究1号館A304講義室で第33回蘭岳セミナーを開催し、教職員、学生及び市民約150名(オンライン参加含む)が参加しました。

今回は、慶應義塾大学システムデザインマネジメント研究所顧問の福田収一氏を講師にお招きし、「逆転の時

代 - Simple is the best」と題して、「マーケットづくりから自分づくりへ」をわかりやすくご講演いただき、参加者は興味深く聴き入っていました。講演後の質疑応答では、会場の参加者からの質問に対して丁寧な説明があり、セミナーは盛況のうちに終了しました。



講演する福田氏



会場の様子

## 北洋銀行ものづくりサステナフェア2025に 本学のブースを出展

令和7年7月23日(水)にアクセスサッポロ(札幌市)で開催された「北洋銀行ものづくりサステナフェア2025」(テーマ:挑戦あふれる大地北海道)に出展し、ものづくり関連企業の技術担当者や人事担当者、また見学を訪れていた札幌近郊の高校生に向けて、本学の取り組みを紹介しました。

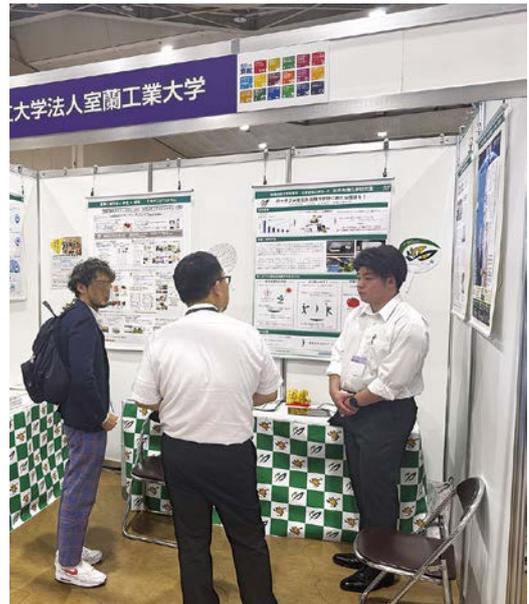
出展ブースでは「ポータブル蛍光分光機で作物に新たな価値を!」と題し、環境創生工学系専攻 化学生物工学コース 生命有機化学研究室より上井幸司准教授と

田博紀さん(博士前期課程1年)が、開発したポータブル蛍光分光機について紹介しました。また、『室蘭工業大学×学生×地域室工大カフェ「TENTO」』と題し、室蘭工業大学カフェプロジェクトのカフェオープンまでの歩みについての展示を行いました。

本学ブースには約100名の来場者が訪れ、ポータブル蛍光分光機や、カフェ TENTOについて多数の質問やご意見を頂き、また本学を志望する高校生は本学教職員の説明に耳を傾けておりました。



室蘭工業大学の大学案内を熱心に見る高校生



上井准教授、田博紀さんからの説明を受ける来場者

## 「室蘭工業大学 デジタル・キャンパス推進スチューデントアンバサダー “M-COINS”」の認定式を実施

令和7年7月11日(金)に本部棟2階理事室にて「室蘭工業大学 デジタル・キャンパス推進スチューデントアンバサダー “M-COINS” (以下、M-COINS)」の認定式が執り行われました。アンバサダーの募集を行い、応募のあった学部1年生から大学院生まで計2名の学生がM-COINSに任命されました。

室蘭工業大学では、デジタル・キャンパスの実現に向けた取組を推進するため、令和5年度に「デジタル・キャンパス推進スチューデントアンバサダー」制度を創設し、今年度で3年目を迎えました。

認定式では、佐藤デジタル・キャンパス推進室長から学生一人ひとりに認定証が授与されました。佐藤デジタル・キャンパス推進室長からは「今回任命された2名には、アンバサダー(大使)として、本学のデジタル化を推進してくれることを期待している。」という激励の言葉がありました。その後、本学のDX戦略に関する懇談会が行われ、これまでM-COINSが行ってきた活動について現メンバーの竹内さんから説明いただくなど、今後の活動を進めていくうえで有意義な時間となりました。



認定証授与の様子



佐藤室長とアンバサダーの集合写真

## 第79回むろらん港まつり「総参加市民おどり」に参加

令和7年7月26日(土)に、室蘭市中央町で開催された、むろらん港まつり「総参加市民おどり」に参加しました。

本学は、教育・研究以外でも地域行事に積極的に大学として参加することで、地域社会の要請に応え、その発展に貢献し支持される大学を目指しています。この行事

には平成19年度から参加しており、雨天中止等になった年を除き、今回で11回目の参加となりました。

当日は、本学公式キャラクターのムロぴょんを含め、教職員と学生44名が「北海盆唄」と「室蘭ばやし」に合わせて踊り歩きました。



踊り歩く教職員・学生



室工大公式キャラクタームロぴょん（2体）が中央町を練り歩く



参加者の集合写真

## 室蘭市ロボット・IoT導入促進ネットワーク 第1回連絡会議に参加

令和7年7月14日(月)に室蘭テクノセンターで開催された室蘭市ロボット・IoT導入促進ネットワーク第1回連絡会議に花島副学長、水上教授、藤平助教、木村社会連携係長の4名が参加しました。

会議では、「各機関によるDX関連支援等の紹介」の時間に、藤平助教から、月島アクアソリューション(株)との共同研究事例「DOBOTとIoT技術を組み合わせた分析

作業の自動化」についての紹介と、花島副学長から「ぶち・オートメーションをサポートし、地域の自動化ニーズに応える、ロボットアリーナ研究拠点」について紹介しました。

会議の後には、株式会社むろらん東郷様を訪問し、取組事例の紹介と工場見学を行いました。



取組み事例を紹介する花島副学長（中央）



取組み事例を紹介する藤平助教（左）

## 令和7年度オープンキャンパスを開催

令和7年8月2日(土)、本学キャンパスにて令和7年度オープンキャンパスを開催しました。当日は、札幌市や室蘭近郊をはじめ、道外からの参加者も含めて、ご家族の方々とともに約1,000名の皆さまにご来場いただきました。

午前、午後にあわて、各学科、コースによる模擬講義、体験学習・実験などで構成される「オープンラボトリ」、バスに乗って大学周辺をまわりながら学生寮や教育研究センター等を見学する「キャンパス周辺バスツアー」、図書館や学生会館等を散策して見学する「歩いて見学」を開催し、参加者の皆様には本学で行われている研究や教育内容等について、直に触れることで理解を深めていただきました。

N棟教室に設けられた学科紹介等企画では、デモ展示やパネル展示による教育・研究内容や卒業後の進路等を紹介しました。また、保護者説明会では、現役学生の様子や生の声が紹介され、多くの参加者が説明に聞き入っていました。

このほか、「入試相談・奨学金ブース」、「受験生応援

企画」、「室工大生と話そう」のコーナーを設け、多くの方がブースに立ち寄り、過去の試験問題等のお持ち帰りコーナーでも用意した部数がなくなるほどの盛況ぶりでした。また、昨年度からの企画として「理系を目指す女子高生が最も知りたい、室工大リケジョのキャンパスライフ!」が行われ、現役の室工大生と女性教員がキャンパスライフについて語る「室工大リケジョ対談」や「理系を目指す女子高生、保護者向けのカフェ座談会」、さらに、今年度新しく企画された、「室工大就職力対談」「むろこーほー特別対談」には多くの高校生やご家族が参加されました。

参加者からは、「教育内容を聞いたり、実際に体験してみたりできてとても良かった」「大学の雰囲気の良いのがわかった」など多くの声が寄せられ、大変好評のうちに終了しました。

**【令和7年度 室蘭工業大学オープンキャンパス  
ダイジェスト動画】**

<https://www.youtube.com/watch?v=WkJNbd-Sos4>



## Microsoft 365 Copilotミニセミナー (セキュリティ編) を開催

令和 7 年 7 月 25 日 (金) に本部棟 3 階大会議室で「Microsoft 365 Copilotミニセミナー (セキュリティ編)」を開催しました。

本セミナーは、本学のデジタル・キャンパス推進の一環として、事務局の常勤職員を対象に「Microsoft 365 Copilot」ライセンスを配付したことを契機に企画されたもので、主催はデジタル・キャンパス推進室業務・働き方改革TFで、齊藤室員が講師を務めました。

セミナーでは、はじめに現在の生成AIの現状について説明し、その後Microsoft 365 Copilotの基本機能に加

え、業務で安心して活用するためのセキュリティ対策や注意点について、わかりやすく解説が行われました。生成AIに対する不安を解消し、正しい理解を深めることで、日々の業務への活用を促進することを目的としています。

当日は、オンライン参加者を含め13名が参加し、有意義な時間となりました。

デジタル・キャンパス推進室では今後もデジタルツール・DXに関するイベントを開催して、職員の業務改善に役立てていきます。



説明する齊藤室員



セミナー当日のアジェンダ

## MONOづくりみらい共創機構「プレ共同研究」（4回目）の採択

令和7年度MONOづくりみらい共創機構プレ共同研究（3回目）公募の結果、次のとおり採択されました。

本事業は、本学教員と民間機関等との研究者が、次年度以降において民間機関等との共同研究へ発展させるための前段階に相当する共同研究に対して助成を行うものです。

| 研究代表者・職・氏名             | 民間企業等           | 採択金額（千円） |
|------------------------|-----------------|----------|
| しくみ解明系領域<br>特任准教授 永井展裕 | 特定非営利法人公共環境研究機構 | 500      |
| 合 計（1件）                |                 | 500      |

## 外部資金

## 民間等との共同研究の受入れ

| 研究代表者・職・氏名          | 相手方区分 | 金額(千円) |
|---------------------|-------|--------|
| もの創造系領域<br>教授 今井良二  | 大企業   | 1,196  |
| もの創造系領域<br>教授 小室雅人  | 中小企業  | 1,100  |
| もの創造系領域<br>教授 廣田光智  | 中小企業  | 1,300  |
| もの創造系領域<br>准教授 大石義彦 | 中小企業  | 2,711  |
| もの創造系領域<br>准教授 松本大樹 | 大企業   | 2,000  |
| しくみ解明系領域<br>教授 工藤康生 | 中小企業  | 1,950  |
| 合計(6件)              |       | 10,257 |

※大企業・中小企業の別は、中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条による。

## 受託研究等の受入れ

| 研究代表者・職・氏名           | 委託先区分  | 金額(千円) |
|----------------------|--------|--------|
| しくみ解明系領域<br>教授 山中 真也 | 地方公共団体 | 2,480  |
| 合 計 (1件)             |        | 2,480  |

## その他の補助金の受入れ

| 事業名   | 研究代表者・職・氏名          | 事業元                    | 金額(千円) |
|---|---------------------|------------------------|--------|
| 令和7年度 中小企業政策推進事業費補助金(成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech事業)) | もの創造系領域<br>准教授 中田大将 | 公益財団法人 北海道科学技術総合振興センター | 6,300  |
| 合計(1件)  |                     |                        | 6,300  |

## 奨学寄附金の受入れ

| 寄 附 者                      | 目 的         | 金 額 (千円) |
|----------------------------|-------------|----------|
| 一般社団法人日本溶接協会               | 工 学 研 究 助 成 | 300      |
| 株式会社構研エンジニアリング             | 工 学 研 究 助 成 | 500      |
| 株式会社ドーコン                   | 工 学 研 究 助 成 | 500      |
| 東亜グラウト工業株式会社               | 工 学 研 究 助 成 | 600      |
| 東亜グラウト工業株式会社               | 工 学 研 究 助 成 | 600      |
| 日鉄テックスエンジ株式会社              | 工 学 研 究 助 成 | 300      |
| 前田工織株式会社                   | 工 学 研 究 助 成 | 500      |
| 一般社団法人北海道環境保全技術協会          | 寄 附 講 座     | 1,000    |
| 株式会社スリーエス                  | 工 学 教 育 助 成 | 50       |
| 株式会社構研エンジニアリング             | 工 学 研 究 助 成 | 500      |
| 株式会社構研エンジニアリング             | 工 学 研 究 助 成 | 500      |
| 株式会社構研エンジニアリング             | 工 学 研 究 助 成 | 500      |
| 特定非営利活動法人地下資源イノベーションネットワーク | 寄 附 講 座     | 1,000    |
| 合 計 (13件)                  |             | 6,850    |

人 事

人 事 異 動

国立大学法人  
室蘭工業大学長発令

| 発令年月日                | 異 動 内 容   | 氏 名                           | 現 職   |
|----------------------|---|-------------------------------|---|
| 令和7年9月1日             | <p style="text-align: center;">〈採 用〉</p> 総務広報課（男女共同参画推進室）事務補佐員<br>入試戦略課 事務補佐員 | 本 間 美希子<br>永 田 鈴 奈            |   |
| 令和7年8月9日<br>令和7年9月1日 | <p style="text-align: center;">〈雇用期間更新〉</p>                                   | 松 本 三奈子<br>福 山 愛 美<br>工 藤 千 尋 | 大学院工学研究科 事務補佐員<br>総務広報課図書学術情報室<br>事務補佐員<br>監査室 事務補佐委員 |

## 学内行事

- 8月2日(土) 令和7年度オープンキャンパス
- 8月7日(木) STARTUP HighSchool 2025 in 室蘭工業大学
- 8月13日(水) 全学一斉休業(15日まで)
- 8月18日(月) 次世代リーダー育成塾 in 室蘭工業大学2025
- 8月21日(木) 令和7年度室蘭工業大学市民懇談会

## 学外行事

- 7月26日(土) 第79回むろらん港まつり「総参加市民おどり」(室蘭)
- 8月10日(日) 令和7年度「夏の進学相談会(オンライン)」(11日(月)・16日(土))

# 室蘭工業大学 人物図鑑

室蘭工業大学に所属する教員・職員に  
専門分野、業務内容、室工大の  
Good Pointなどを聞いてみました。

- ①専門・業務内容
- ②室工大のGood Point
- ③室工大で好きなspot



Part 31  
教授 徳楽清孝  
（クリエティブイノベーションセンター長）



- ①蛋白質化学、社会/企業連携
- ②自然豊かでアウトドア三味しながらも、最先端の研究ができるところ
- ③春の八重桜

Part 32  
教授 清末愛砂



- ①憲法学・ジェンダー法学・アフガニスタン研究
- ②真面目な学生が多く、授業中は私語がほとんどない  
札幌や新千歳空港に行きやすいため、利便性がそれなりに高い。涼しい夏
- ③桜が満開になる頃のQ棟の前

## 編集後記

◆ 夏の暑さがようやく落ち着き、過ごしやすい季節がやってきました。「〇〇の秋」という言葉に象徴されるように、秋は何かを始めるのにふさわしい季節です。

先日、本学のバーベルクラブに所属する学生がパワーリフティングの世界大会に出場し、種目別で世界記録を樹立、金メダルを獲得しました。競技を始めたのは、大学に入学後であり、競技開始からわずか2年での記録樹立となりました。

皆様も、今からでも遅くはありません。この秋に、何か新しいことに取り組んでみてはいかがでしょうか。



獲得した金メダルをかけさせてもらったムロぴょん

(Garoon : 総務広報課秘書広報係、E-mail : koho@muroran-it.ac.jp)

(総務広報課秘書広報係)



室蘭工業大学のキャラクター「ムロぴょん」

■編集発行 室蘭工業大学総務広報課  
〒050-8585 室蘭市水元町27番1号 電話 0143-46-5014

■印刷所 株式会社日光印刷  
電話 0143-47-8308